

一般社団法人モリウミアスファーム（油井元太郎代表理事）は、東日本大震災で塩害を受けた石巻市雄勝町の低平地を活用したブドウ栽培に取り組んでいる。

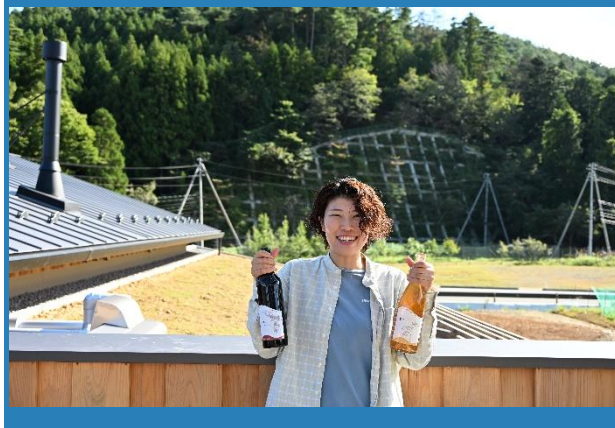
2023年の春から、盛土された造成地の、草も生えない粘土質な土壌を竹炭などを使って改善するところから畑の土づくりを始め、2024年4月には1,300本の苗木を植樹した。

現地スタッフの佐々木里帆さんは「ブドウ栽培のボランティアや町の自然を良くしたいと思う方々が集まることで関係人口が増えている。再生型農業を通して小さな生き物たちや緑が育つ自然を再生したい。将来的には収穫されたブドウを原料にして、ワインの製造と販売を予定している」と話す。

11月15日には畑の隣に、日本財団が進める「渚の交番プロジェクト」で設置された複合体験施設「渚の交番 石巻モリウミアス マリン&フード」がオープンした。佐々木さんは「ブドウ栽培を契機に、内外から人が集まる機会ができた。施設にはワイナリーも整備されており、さらに関係人口を増やしたい」と意気込む。

【記事提供】 石巻市農業委員会

ワインを手に佐々木さん



開所式の様子

